

内科（血液・腎・感染症等専攻可）



内科部長

山本 多恵

診療内容と実績

■腎疾患

蛋白尿や血尿を伴う腎疾患には、積極的に腎生検を施行しており、慢性糸球体腎炎やネフローゼ症候群をはじめ、血管炎や膠原病、アミロイドーシスなど幅広い腎疾患の診断を行い、腎予後を悪化させない様に治療を行っています。常染色体優性多発性嚢胞腎の診断、トルバプタン導入と管理を行っています。高血圧や糖尿病などの生活習慣病などに由来する慢性腎臓病の方には、必要に応じて保存期腎不全の教育入院を行い、医師・看護師・栄養士・薬剤師など多職種が介入して診療にあたるチーム医療により、将来的な腎代替療法に向けて情報提供を行います。また、尿路感染症や電解質異常の診断と治療も行っていきます。

■急性血液浄化

当院の特性上、救急科と連携して集中治療室での急性血液浄化に対応しています。急性腎障害や敗血症性ショック等に対する持続腎代替療法（CRRT）やエンドトキシン吸着、血漿交換等を行っています。また顆粒球除去（G-CAP）、LDL吸着療法、活性炭吸着、腹水濾過濃縮再静脈法（CART）など各種病態に対するアフェレシス治療を各科と連携して行います。急性期病院に併設した施設であることから、他施設で維持透析症例が、脳血管障害、眼科疾患、手術、検査などで入院した際の血液透析を担当します。

■血液疾患

悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病、骨髄異形成症候群（MDS）、再生不良性貧血、溶血性貧血など様々な血液疾患に対応しています。造血器腫瘍については、骨髄穿刺、骨髄生検、染色体遺伝子解析、細胞表面抗原解析をもとに最適なプロトコルを用いて化学療法を行うために、クリーンルームを4室備えております。

■その他

希望に応じて、将来の専門医取得に向けた研修も可能で、専門医認定に必要な症例の経験を積むことができます。当院は救命センターを併設する総合病院であることから、急性期血液浄化や各種血液浄化療法を要する病態や疾患について学ぶことが可能です。東北大学と連携して腎臓病の専門的組織診断の経験も積むこともできます。日本腎臓学会専門医や日本透析医学会専門医認定要件となっている症例経験と学会総会ならびに学術集会参加や学術発表を行い、専門医取得の準備ができます。

プログラムの目的と特徴

本プログラムは、内科専攻医の研修に必要な疾患群・症例を経験するのみでなく、内科医に求められる基本的な素地の確立と救急医療を含めた内科全般について幅広く対応できる臨床能力を身につけます。当科の専門分野は腎疾患、血液疾患、高血圧疾患で、加えて膠原病、電解質異常、内分泌疾患、尿路感染症、菌血症など症例が豊富です。このような内科領域の多様な疾患についてそれぞれの指導医の指導の下で検査、診断、治療を幅広く研修することが可能です。希望により、腎、血液、感染症などおおまかな分野を絞っての研修にも対応します。

研修内容と到達目標

■短期研修

一般内科に求められる診療手技、検査、症状、治療に習熟するための研修とともに内科的救急医療を深め、初期研修では不十分だった症例を担当する。

■1年研修

希望する領域の疾患を中心に、一般内科医として基本となる種々疾患の診断、治療の基本を習得するための研修を行う。

- ・内科領域の救急症例に対して、救命救急外来および病棟において適切な初療ができる
- ・EBMに関する情報を取得できる
- ・内科地方会等で発表する

■2年研修

専攻希望分野の疾患を重点的に研修し、代表的病態・疾患を経験する。

- ・代表的な内科疾患の診断・治療ガイドラインに沿った治療ができる
- ・外来診療を習得する
- ・初期臨床研修医を指導する能力を身に付ける
- ・骨髄穿刺、血液透析など検査手技を適切に行う
- ・内科地方会や関連学会で発表を行い、症例報告等の論文にまとめる